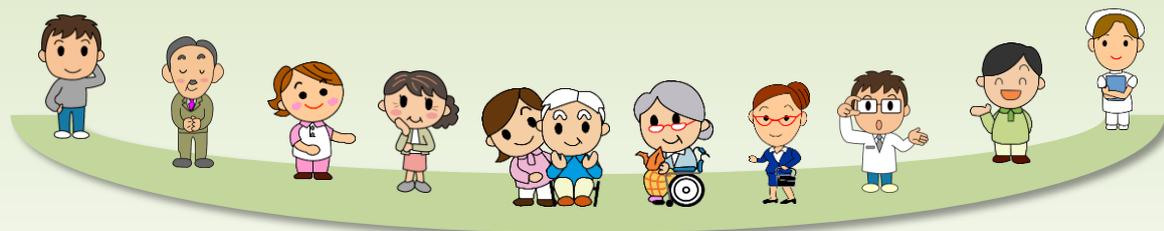


病気や障害があっても 住み慣れた地域で その人らしく安心して 暮らせるようにするために



南国・香南・香美地域での推進イメージ



今までの取り組みと成果

現状

成果

課題

在宅への退院・退所をスムーズにするための仕組みづくり

◇退院・退所に向けた取り組みが十分でない

- ・退院前カンファレンスに主治医をはじめ患者に関わる全職種への参加が難しい
- ・在宅側から施設側に対して、在宅患者の情報が十分に伝わっていないので患者と家族が安心して在宅生活を送れているかわからない



- ◆退院前カンファレンスについて調査を実施し、実態把握と課題を整理した
- ◆模擬退院前カンファレンスや実施状況報告会を実施し、在宅スタッフの参加が進んだ

- ・退院前カンファレンスに関する取り組み
 - H21: 模擬退院前カンファレンスの実施
 - H22~: 退院前カンファレンスの実施状況報告会(のべ6回:8事例)

- ◆患者と家族の安心につながる退院前カンファレンスの推進

在宅を支えるための仕組みづくり

◇医療介護の関係者の連携が十分でない

- ・在宅ケアを支える多職種・多機関に互いの役割や機能が理解されてきたが、その機能が在宅サービスに活かされてきていない
- ・在宅ケアを支える多職種・多機関が互いに連絡を取りやすい仕組みづくりが十分でない

- ◆在宅ケアに関わる各サービス機関(居宅介護支援・訪問看護・訪問薬剤管理・在宅医療・在宅歯科等)への実態調査を実施し、各機関や職種の課題が明らかになった
- ◆医療と介護の連携のための情報等の一覧表を作成することにより、連携の窓口が明らかになった
- ◆多職種連携の研修会等を通じて関係者間の顔の見える関係づくりが進み、連携がスムーズになった



- ◆在宅における多職種・多機関連携の一層の推進

関係者の資質向上の仕組みづくり

◇介護や医療の制度が十分理解されていない

- ・訪問看護利用者に重症者が増え、夜間対応、看取り等への対応が課題
- ・住民に認知症が理解されていない

- ◆多職種・多機関の合同研修会や事例検討会により、相互理解が進み、連携の取り組みが広がった
- ◆地域ケアシンポジウムを開催し、住民向けに各種制度の相談窓口や専門職の役割及び認知症の理解を進めるための情報発信ができた

- ・土佐長岡郡医師会主催の多職種による研修会 事例検討会等の研修会 のべ45回
- ・各種団体主催の研修会
- ・住民向け地域シンポジウムや住民座談会



- ◆「仕組みづくり」から「住民がQOLの向上を実感する取り組み」へのステップアップ

- ◆住民への啓発のさらなる推進

地域の見守りや支え合いの仕組みづくり

◇家族の介護力や地域力が低下している

- ・民生委員に、高齢者の入院入所や認知症に関する相談が増えた
- ・人口減、高齢化で住民主体の活動が減少している
- ・介護保険サービスだけでは、在宅生活に限界があるが保険外の支援が十分ではない



- ◆南国市・香南市・香美市に認知症等介護者の家族会が設立され、本人への関わりから家族介護者への支援が広がった
- ◆社会福祉協議会と地域包括支援センターの協働で住民参加による認知症等の啓発活動が活発になり、地域での認知症理解者を増やすことにつながっている
- ◆地域包括支援センターと社会福祉協議会及び中央東福祉保健所が地域の家族会やグループホームの職員、高校生を巻き込んで、認知症を正しく理解するための啓発素材となる「認知症よりそいカルタ」を作成
 - 認知症キャラバンメイト 211人 (H24年度末)
 - 認知症サポーター 4,370人 (H24年度末)

- ◆行政、専門職、住民等の連携による要援護者支援の仕組みづくり

- ◆地域全体で取り組む見守りネットワークの構築

南国・香南・香美地域での推進イメージ

今後の取り組み



医療・介護・福祉の連携の推進

認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの推進の仕組みづくり



在宅ケアを支えるため入院・入所施設との連携の仕組みづくり



それぞれの目標、私たちは取り組んでいます!

土佐長岡郡医師会は
 ・認知症や在宅医療に関するテーマで事例検討会、勉強会を行います。
 ・こうちオレンジドクター登録者を増やし、地域への周知を行っています。

香美郡医師会は
 ・こうちオレンジドクターや認知症サポート医、かかりつけ医を関係機関や住民に周知していきます。
 ・お薬手帳にケアマネジャーや施設の名前を記載し、連携を深めていきます。

高知県歯科医師会土長南国支部は
 ・多職種の方々との連携を密にして、歯科医師が認知症の方々の口腔ケア及び摂食のリハビリテーションを実施していきます。

高知県歯科医師会香美・香南支部は
 ・かかりつけ医と連携して咀嚼障害の改善に取り組み、認知症の予防改善を行っています。
 ・退院前カンファレンスに参加し医科歯科連携の強化を進めていきます。

高知県薬剤師会香長土支部は
 ・薬局で関わる患者さんや家族への認知症の啓発を行っています。
 ・薬剤師が実施する居宅療養管理指導を知ってもらい、効果的な薬の服薬を勧めています。
 ・在宅患者さん宅等での居宅療養管理指導を通じて、困りごとを把握し、効果的な服薬につなげます。

高知県看護協会東部2地区(山田・本山・南国)は
 ・看護協会が実施する認知症対応力向上研修への看護職の参加を増やしていきます。
 ・地域で行う認知症サポーター養成講座を紹介し、受講を勧めています。

高知県訪問看護ステーション連絡協議会東部ブロック会は
 ・認知症の種類による特徴的な症状や治療についての学びを深め、看護に活かしていきます。
 ・事例検討会などへの参加を通して、多職種と顔の見える関係を築いていきます。

南国市社会福祉協議会は
 ・支援者間で連絡が取れる環境を整備していきます。
 ・地域包括支援センターとの連携をより強化し、地域を巻き込んだ認知症の体制づくりを共に進めていきます。

香美市社会福祉協議会は
 ・香美市認知症支援推進協議会へ参加します。

中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会は
 ・主治医との顔の見える関係を強化します。
 ・退院前カンファレンスに出席し、退院後の在宅ケアプランを本人・病院側に説明し理解を得ることに努めます。

南国市地域包括支援センターは
 ・こうちオレンジドクター登録制度の周知を行います。
 ・早期発見・早期対応に向けたツール(AOS、DASC)を活用して、相談から医療へのつなぎを早めに行っていきます。
 ・多職種連携の勉強会を実施し顔の見える関係づくりをしていきます。

南国市は
 ・地域ケア会議の参加メンバーの拡充をし、医療情報の充実に努めます。

香美市は
 ・認知症支援について、関係機関と定期的な勉強会を続けていきます。
 ・認知症の早期相談体制づくりに取り組みます。
 ・早期発見・早期対応に向けたツール(AOS・DASC)を学ぶ研修会を実施します。

香南市は
 ・ケアマネジャーの勉強会を継続していきます。



こうちオレンジドクターはこのマークが目印です!

地域の見守りや支え合いの推進

目標

- 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり
- 認知症等の要介護者を支援する行政、専門職と住民の連携

土佐長岡郡医師会は
 ・認知症サポート医による住民に向けた認知症に関する講演会、座談会などを行っています。
 ・認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成について協力をします。

高知県薬剤師会香長土支部は
 ・認知症サポーター養成講座への協力をしていきます。
 ・地域ぐるみの話し合いの場へ専門職として協力していきます。

高知県訪問看護ステーション連絡協議会東部ブロック会は
 ・家族会の活動を知り、訪問看護利用のご家族に家族会について情報提供していきます。
 ・家族会の方にも訪問看護について知っていただく機会を作っていきます。
 ・行政や社協との連携が図れるよう、その役割・機能について学んでいます。

南国市・南国市社会福祉協議会は
 ・認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターと連携して計画的に実施していきます。
 ・家族会活動の周知と共に、支援を行い、介護者の介護負担の軽減を図ります。
 ・地域・関係機関での徘徊ネットワークづくりに向けた検討会を開催していきます。

香南市社会福祉協議会は
 ・地域で活動する関係機関等と連携を図り、地域の見守り体制を整備していきます。

香美市社会福祉協議会は
 ・認知症サポーター養成講座を開催します。
 ・軽度認知症の方を対象としたミニデイを開催し、介護者の外出支援と負担軽減をします。
 ・介護者の会(陽まわりの集い)で認知症を学ぶ場を提供します。

3市(南国・香南・香美)民生委員児童委員連絡協議会は
 ・民生委員として、認知症の正しい知識を身につけ、地域での見守り活動につなげていきます。

中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会は
 ・地域の方や多職種との連携についての研修を開催していきます。
 ・地域で行う認知症の研修に家族が参加できるように支援します。

香美市は
 ・地域の状況に合わせた認知症啓発を進めていきます。
 ・あったかふれあいセンター事業や介護予防事業と協働し、認知症の方やその家族への支援を行っています。
 ・認知症の方やその家族への支援のための社会資源情報の取りまとめを進めていきます。

香南市は
 ・企業や各種組織、学校を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を継続します。

中央東福祉保健所は
 ・認知症キャラバン・メイト養成研修を実施し、研修修了者へのフォローアップに努めます。

地域ぐるみで
 ・在宅での看取りや死生観について考える場をつくっていきます。



介護者家族会や高校生をはじめ地域の皆さんと一緒に作りました。



平成24年度 かかりつけ医調査結果①

※調査名：認知症にかかる医療と介護のための連携に関する調査

【実施主体】

土佐長岡郡医師会、香美郡医師会、当福祉保健所

【目的】

かかりつけ医による認知症患者の診療及び介護との連携上の課題を明らかにし、認知症の早期診断・早期対応につなげる。

【対象】

南国・香南・香美地域の66医療機関 *回収率：**84%**

- *人口/2010年:112,068人→2030年:95,400人
- *高齢化率/2010年:28.1%→2030年:35%
- *認知症高齢者数/2010年:5,233人→2030年:6,939人

①

平成24年度 かかりつけ医調査結果②

1. 過去1年間にアルツハイマー型認知症治療薬を処方：**73%**
2. 専門医療機関への紹介経験あり：**77%**
3. 専門医療機関への紹介のきっかけ：
 - ・家族からの相談**72%**・ケアマネからの相談**7%**
4. 協力できる家族がいなくて困った：**67%**
 - *そのうち**62%**がケアマネ、**58%**が包括に相談服薬管理の改善や生活情報の把握につながったと評価
5. 家族から介護や生活面の相談あり：**93%**
 - *そのうち**43%**がケアマネ、**21%**が包括につないでいる

②

平成25年度 ケアマネジャー調査結果①

※調査名：ケアマネジャーとかかりつけ医の連携に関する調査

【実施主体】

南国・香南・香美市の地域包括支援センター、当福祉保健所
(協力)中央東ブロックケアマネ連絡協議会

【目的】

- ・かかりつけ医とケアマネジャーが連絡・相談しやすい仕組みづくり
- ・認知症の早期診断・早期対応
- ・本人・ご家族への支援

【対象】

全てのケアマネジャー：98人、29事業所

*回収率 ケアマネ：**93%** (91/98) 事業所：**100%** (29/29)

③

平成25年度 ケアマネジャー調査結果②

1. 認知症又はその疑いがある方が5割以上：**57%**
2. 直接連絡や相談ができる医師が2割未満：**53%**
3. 医師が多忙で連絡や相談がしづらい：**62%**
4. 自分が患者の担当ケアマネと伝えているか？
 - ・自分が必要と思った時：**48%**・伝えたことがない：**10%**
5. 患者のケアプランを提供しているか？
 - ・依頼があればする：**43%**・したことがない：**30%**
6. 認知症のことで相談しづらい：「ある」が**59%**
「専門医に紹介して欲しいと言いつらい」「かかりつけ医の役割は？どこまで相談して良いの？」など

④

◆かかりつけ医は・・・

◎調査結果・医師の声から

1. 認知症ケアの重要な役割を担っている。

患者の治療だけでなく、家族から認知症の介護や生活面の相談に乗るなど重要な役割を担っている。

2. 独居等の患者への対応に苦慮している。

独居や相談できる家族がいなくて早期診断・治療につながらないケースを抱えており、ケアマネ、包括に相談して服薬管理などの改善につながったと評価している。

3. ケアマネ・包括からの相談は少ない。

「誰が担当ケアマネかを知らない。」「ケアマネから相談されることはない」とおっしゃる医師も・・・

⑤



◆ケアマネジャーは・・・

◎調査結果・ケアマネ、包括の声から

1. かかりつけ医に相談したり助言が欲しい。

- ・疾病、服薬のことを相談したり、助言をいただきたい。
- ・患者の自宅での様子や日常生活に関することを伝えたい。
- ・ケアプランに関することで相談したい。

2. 連絡すること自体に遠慮や不便を感じている。

- ・医師や医療機関側の都合に合わせながらの情報のやり取り
- ・医師の多忙、自身の知識不足を理由に遠慮
- ・担当窓口がわからず不便
- ・介護保険制度や介護・生活面で理解してくれない。
- ・専門外の疾病の相談は遠慮してしまう。

3. かかりつけ医とのやりとりを円滑にしたい。

⑥



かかりつけ医調査・ケアマネジャー調査から見てきたこと

かかりつけ医の困りごと

◆ケアマネさんに患者さんの生活状況や服薬等の困りごとを相談したいが誰が担当かわからない。

◆認知症専門医に紹介したいが相談できる家族がいない。

◆ケアマネさんからあまり相談されることがない。

ケアマネジャーの困りごと

◆担当ケアマネであることを積極的に伝えていない。
◆医療機関に連絡をすること自体に遠慮や不便がある。

◆認知症専門医に紹介して欲しいと言いつらい。

◆先生は多忙で相談しにくい。
◆専門外の疾病に関する相談してもいいの？



かかりつけ医とケアマネジャーとの双方向のやり取りがスムーズになる仕組みが必要



⑦

—目指す姿— 認知症の早期診断・早期対応のための かかりつけ医とケアマネジャーを中心とした 医療と介護の連携体制づくり

★取り組みはじめたこと

1. かかりつけ医とケアマネジャーの双方向の連絡票の運用
2. ケアマネジャーからかかりつけ医へのあいさつ
3. かかりつけ医へケアプランを提供する
4. ケアマネタイムの見直し・活用
5. AOS(認知症行動観察シート)の活用



⑧

この認知症に重点をおいた地域包括ケアの推進(南国・香南・香美地域アクションプラン)は、下記の推進協議会メンバーが協力して作成しました。ぜひ、各構成団体の関係者の皆さまや地域住民の皆さまにご一読いただき、アクションプランの全体像とご自分が所属している団体の取り組みをご理解いただき、病気や障害があっても、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らすことのできる地域づくりに役立てていただきたいと思います。なお、このアクションプランは、推進協議会において、毎年進行管理し改訂することとしています。

日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美地域推進協議会メンバー一同



日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美地域推進協議会メンバーの団体役職名
 土佐長岡郡医師会会長、土佐長岡郡医師会副会長、香美郡医師会会長、香美郡医師会副会長、高知大学附属病院地域医療連携室長、高知県歯科医師会土佐長岡支部代表、高知県歯科医師会香美・香南支部会長、高知県薬剤師会香長土支部長、高知県看護協会東部2地区(山田・本山・南国)地区理事、高知県訪問看護ステーション連絡協議会東部ブロック代表、中央東圏域栄養士会代表、3市(南国・香南・香美)社会福祉協議会代表、3市(南国・香南・香美)民生委員児童委員連絡協議会代表、中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会会長、南国市住民代表、香南市住民代表、香美市住民代表、南国市長寿支援課長、香南市高齢者介護課長、香美市健康介護支援課長



このリーフレットに関するご意見やお問い合わせ先 高知県中央東福祉保健所 地域支援室
 〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田1128-1
 TEL:0887-53-3171(代表) 0887-53-0298(直通) FAX:0887-52-4516
 E-mail: 130112@ken.pref.kochi.lg.jp

